

kanamoto ■ カナモトエグザミネー examiner




株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.49











第45期(2009年10月期)第3四半期号

3Q 2009.5

-  イベントジャパン2009に出展
-  サンクスフェア in 新潟を開催
-  IR 平成21年10月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正について発表











2009.6

-  IR 第45期第2四半期決算発表
-   【東京】第45期第2四半期決算説明会を実施(アナリスト協会) 
-   【大宮】個人投資家説明会を実施(野村證券) 
-   大阪中央営業所(大阪市此花区)を開設 




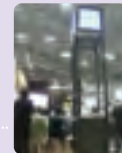
2009.7

-  サンクスフェア in 静内・函館・石巻を開催
-  サンクスフェア in 秋田を開催
-  IR 株なびカンファレンス(個人投資家説明会)に出展
-  サンクスフェア in 伊達・滝川・福島を開催
- 浜松町Kビル増築工事竣工 
- 金本(香港)有限公司設立について発表
-  サンクスフェア in 八戸を開催
-  道新・UHB花火大会に協賛
-  朝日新聞・HTB花火大会に協賛









4Q 2009.8

-  IR 平成21年10月期通期業績予想の修正について発表
- キョクトーリース株式会社を吸収合併



2009.9

-  IR 第45期第3四半期決算発表
-  IR 日経IRフェア2009 STOCKWORLDに出展 
-  サンクスフェア in 盛岡を開催
-  サンクスフェア in 旭川を開催
- ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット」に出演 



凡例  IR関係  イベント  社内のイベント  関連情報をカナモトエグザミネーVol.48に掲載
 ※青文字:本号3~4ページに関連記事を掲載

とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で30名様にノベルティグッズを差し上げます。今号はカナモトのオリジナルダイアリー手帳2010年度版をプレゼント。一昨年、昨年とご好評をいただいた人気グッズです。

手帳表面は水に強く、手触りのいいオーストリッチ風の塩ビ製。表面に当社ロゴを織り込んだHPアドレスを、裏面にはカナモト坊やをエンボス仕上げで入れています。中面もオリジナルで、前半のスケジュール部分は1ページ1週間タイプ、見開きの右ページはフリースペース。後半はデータ野のひかれた集計表タイプのメモページをたっぷり設けるなど「使い勝手」にこだわって作りました。ぜひ、来年のスケジュール管理はこの手帳で!ふるってご応募ください。

ご応募の締め切りは11月13日(当日消印有効)です。
 なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



2009.7

浜松町Kビルの増築工事が完了しました

かねてから進めておりました浜松町Kビル(東京都港区)の増築工事が、7月14日に竣工いたしました。

当社の営業統括本部である浜松町Kビルは、今から10年前の1999年に竣工。当時施工していただいた鹿島建設株式会社様に、今回の増築工事も依頼させていただきました。また巡り合わせにも恵まれ、当時と同じく同社の大谷治所長に担当していただく縁がありました。

7月17日には竣工式と内覧会、披露会を開催し、当社社長の



祝辞を賜ったオリックス株式会社の梁瀬行雄社長(写真左)と鹿島建設株式会社の宇野正良執行役員

の金本寛中から以下のようにご挨拶させていただきました。

「これだけ広範囲に営業の現場が広がると、これを効率的に運営するための執務環境の確保が必要

になり、それには以前の浜松町Kビルではあまりにもひ弱すぎるといって今回の増改築に至ったわけです。設備投資というのはお金がかかります。では、誰のお金で実施できたかといえば、それは株主様のお金を私どもが使ったわけでございます。従って、そのお金はどこかで稼いで返さなければいけない。

ご参席いただいた皆様には、我々が“稼ぐ”お手伝いをお願いしたいと、平に心から申し上げます」(当日のスピーチから抜粋)
今後も厳しい経営環境が続くと想定されますが、株主の皆様のご期待に沿えるよう引き続き業績回復に向けて邁進いたします。☑



増築した浜松町Kビル



竣工のご挨拶をする当社社長の金本寛中

金本(香港)有限公司を設立しました

浜松町Kビルの竣工式と同日の7月17日、上海、グアムに続く当社第3の海外展開として「金本(香港)有限公司」の設立を発表いたしました。

同社は、すでに各国で高い評価を得ているカナモトの中古建機販売の前線基地になると同時に、積極的な展開を目指す建機レンタルの重要な拠点となります。香港では、鉄道や橋梁などの建設を含む総額2,500億香港ドルの10大プロジェクト工事をはじめ、旺盛な建機需要が見込めます。

当社では今後も進出した各国での事業を早期に軌道に乗せるとともに、需要を見込めるその他の国についても進出を検討するなど、海外での事業拡大を進めていきます。☑



金本(香港)有限公司COOの北川健、オフィスのエントランスにて

2009.9

キョクトーリース株式会社を吸収合併しました



新しくカナモトの拠点に加わった米沢営業所

9月1日付で、当社の非連結子会社であったキョクトーリース株式会社を吸収合併いたしました。この合併にともない、仙台西営業所(宮城県仙台市)、米沢営業所

(山形県米沢市)、南陽営業所(山形県南陽市)の3拠点が新たにカナモトの営業所となりました。

今後もシェア拡大を図るとともに、各地域でお客様重視のサービスを提供し、皆様の良きパートナーとなれるよう努める所存です。☑

日経IRフェア2009に出展しました

夏恒例のIRイベント「日経IRフェア」に、今年も出展いたしました。9月4日、5日の開催2日間の来場者数は延べ13,000人超。例年と同様多くの個人投資家が来場され、この不況下においても未だ衰えない「投資熱」が感じられました。

当社ブースにも大勢の皆様にお越しいただき、繰り返し実施したミニ説明会ではカナモトの事業内容・業績・経営戦略のほか、建機レンタル業界についてご説明しました。また、4日に行った特設会場での会社説明会にも多くの方々にご参加



ブース内で実施したミニ会社説明会の様子



100名の収容が可能な特設会場で会社説明会を実施

いただき、ここでも投資家の皆様の熱を実感することができました。カナモトではこれからもIR活動を継続し、広く投資家の皆様に向けて情報発信をまいります。☑

ラジオNIKKEIの「夕焼けマーケット」に出演しました



オンエア中の夕焼けマーケットのスタジオ

さる9月15日、平日の夕方に放送されているラジオNIKKEIの「夕焼けマーケット 投資って楽しいね!」で、注目株としてカナモトを取り上げていただきました。そもそも建機レンタルビジネスとは

何ぞやからはじまり、当社の海外展開、現在進行している羽田空港拡張工事で使われている当社の建機などご説明。パーソナリティの内田まさみさん、兜町カタリスト編集長の櫻井英明さんの軽快なトークもあって、当初の予定時間を延長していただくほどカナモトを存分にPRさせていただきました。続きは編集後記で。☑

What is Rental?

レンタル、リース、チャーター。 どれも「借りる」なのに、特徴はぜんぜん違います。

カナモトの主力事業である「レンタル」というビジネスは、日本では戦後の治山治水事業を皮切りに、建設機械を中心に急発展しました。発展を遂げた理由は、そのメリットの多さにあります。ここでは、さまざまな利点を持つレンタルについて、リースなどとの比較も交えながら改めてご紹介します。

レンタルとリースの違いとは?

リースは、厳密には「ファイナンス・リース」といい、モノを買う資金をリース会社から借り、それを中長期にわたって、リース料という形で返済する方式のもの。これに対して、レンタルとはユーザーの目的に応じたモノを、必要な期間だけ「日単位」で借りるシステムのことです。リースにくらべて色々な面で融通が利くので、「ユーザー本位のサービス」といえるでしょう。

ちなみに、大型クレーン車など特殊な免許が必要なものについては、オペレータ付きの「チャーター」が一般的です。

■レンタルとファイナンス・リース、チャーターの特徴

	ファイナンス・リース	レンタル	チャーター
契約期間	長期(主に年単位)	短期(日単位)	短期(時間単位)
貸出対象	特定の借主	不特定多数	不特定多数
メンテナンス費用	借主側の負担(原則)	貸主側の負担	貸主側の負担
貸出側の在庫	不要	大量の在庫が必要	ごく少数でも可能
オペレータの有無	なし	なし	あり
主な取扱商品	電話、コピー機、パソコン、パソコン周辺機器、医療機器、介護用品、自動車、建設機械、工作機械、航空機、タンカー etc.	ビデオ、CD、什器備品、パソコン、パソコン周辺機器、医療機器、介護用品、自動車、建設機械、工作機械、仮設機材、土地・建物 etc.	飛行機、バス、ビル工用大型クレーン、クレーン車 etc.

レンタルを利用するメリットとは?

レンタルは「必要なモノを」「必要な時に」「必要な数だけ」確保できるサービス。ユーザーにとってさまざまなメリットがあります。

- ①建機の購入代金などの設備投資費用を、最大限に軽減できる
- ②先進機能を搭載した機種を、いつでも調達・使用できる
- ③建機の保管場所を確保する費用・手間とも一切不要
- ④建機の維持管理などのメンテナンスは貸主がその一切を負担(オイル・消耗部品は除く)
- ⑤毎月の減価償却や固定資産税・保険料などの費用発生にとまなう煩雑な経理処理が不要

これら数々のメリットが、レンタルが選ばれる理由となっています。

お客様活用事例①

User Report

札幌いしやま病院様

株式会社カナテック「マジックバイオくん」

カナモトグループに参画する企業の取扱商品を、その活用事例とともにご紹介する当コーナー。第1回はカナモトでレンタルしている仮設ユニットハウスの設計・製造・販売をする株式会社カナテックのバイオ式生ごみ処理機「マジックバイオくん」のユーザーレポートです。

新規事業のキーワードは“環境”

カナテックは仮設ユニットハウスを主力製品としながらも、時代の要請への対応にも抜かりはありません。いま注目しているのはバイオ。



狭いスペースにも入り、邪魔にならない大きさのマジックバイオくん

なかでも小誌44号でも紹介したバイオ式生ごみ処理機「マジックバイオくん」はこれまでの営業領域を超えた製品です。

北海道に限らず香川県や群馬県、三重県など全国各地に納品させていただいているだけではなく、お取引様もこれまでの当社とは一味二味も異なります。特定医療法人藻友会札幌いしやま病院様がその最右翼でしょう。

株式会社カナテック

当社と同じく札幌に本社を置き、管理、営業、設計の三部門のほか、北海道から九州まで全国8か所に製作所を構えています。同社の製品・テックハウスは、製品精度の高さからこれまでの仮設ハウスの用途を脱して、セカンドハウスといった常設される建造物にも利用されるなど用途が広がっています。



ゴミ収集BOX。実はレンタルアップした仮設トイレをリユースしたもの。質実剛健な作りだからこそ再利用に耐える。

バイオ導入の根底にある「医食同源」

札幌いしやま病院様は、日本人を悩ます痔の手術で全国的に定評があり、札幌を代表する医療機関の一つ。同院の石山勇司理事長は、以前から食べ残された病院食(生ゴミ)を堆肥にして、それを同院の菜園で活用し低農薬有機野菜を作って患者さんに提供したいとお考えでした。

そこでマジックバイオくんを採用いただき、有機質を多く含む残渣を使って堆肥を生成することで、問題を解決されました。飲食業が設備する場合と違って税法などのメリットはまったくないのですが、「食べ物を無駄にせず、そして安全な材料とよりよい食事健康を得る」旨の札幌いしやま病院様のホスピタリティ、そして食品リサイクルに対する意識の高さを感じました。



マジックバイオくんを採用いただいた札幌いしやま病院様



特定医療法人 藻友会

札幌いしやま病院

〒064-0915 札幌市中央区南十五条西11丁目2番1号

TEL:011-551-2241 <http://www.ishiyamahp.jp>

第45期第3四半期決算の概況 [2008(平成20)年11月1日から2009(平成21)年7月31日まで]

●連結経営成績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
45期第3四半期(累計)	47,258 (－)	△299 (－)	△544 (－)	△858 (－)	△26.13
44期第3四半期(累計)	53,668 (2.7)	2,291 (△37.9)	2,188 (△44.1)	974 (△62.4)	29.68

●通期(2009年10月期)連結業績予想

今回修正予想 (2009年8月28日発表)	63,700 (△8.2)	△650 (－)	△1,000 (－)	△1,700 (－)	△51.77
前回発表予想数値 (2009年5月29日発表)	64,850 (△6.6)	320 (△85.6)	40 (△98.0)	△990 (－)	△30.15

(注1) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、対前年同四半期増減率(%)を示しております。

(注2) 平成21年5月29日付発表の第45期通期の業績予想について、8月28日に修正を発表しました。

(注3) 45期は四半期報告制度の適用初年度であり、44期までと適用される会計基準や用語、様式および作成方法に関する規則等が異なるために対前年同四半期増減率は「－」を記載しています。

第3四半期の累計連結業績

当社グループのユーザーである建設業界では、民間設備投資の低迷から建設市場は縮小傾向にありましたが、地域間で異なるものの公共事業前倒し発注など政府による経済対策が徐々にではありますが効いてきております。

当社グループでは各々営業強化に努め、各地域で建機レンタルのシェアは拡大させることができましたが、需給均衡の崩れた機種を中心に建機レンタルは広範囲で単価の下落が続いており、収益ともに捗々しくありませんでした。特に、民需減少の影響をまともに受けた地区で展開する関連会社では収益の落ち込みが大きくなっております。

また、海外向け中古建機販売については、中古建機市況、

為替動向を鑑み政策的に期初から販売台数を抑制したため、国内の収益減少を補うには至りませんでした。

この結果、2009(平成21)年10月期第3四半期の連結業績は、連結売上高は472億58百万円となりましたが、一方、利益面につきましては、絶対的建設需要の減少、レンタル単価の下落傾向からレンタル収入が伸長せず、レンタル原価逓減効果も薄れて、連結営業損失は2億99百万円、連結経常損失は5億44百万円と、遺憾ながら設立来初めての営業損失を計上いたしました。また、最終損失については投資有価証券評価損が幾分か改善されたこともあって当第3四半期連結純損失は8億58百万円となりました。

事業種類別セグメントの業績

<建設関連事業>

建機レンタルの地域別売上高の第3四半期の対前年比は、北海道地区11.9%増、東北地区7.8%減、関東地区1.9%減、近畿中部地区18.5%減、九州沖縄地区9.8%減でした。

また、期初からの9ヵ月累計売上高の対前年比では、北海道地区3.2%減、東北地区8.5%減、関東地区1.4%増、近畿中部地区10.5%減、九州沖縄地区3.3%減の結果となりました。

北海道地区は第3四半期に徐々にではありますが経済対策効果を楽しみましたが、上半期の低迷を挽回するには至りませんでした。東北地区は官需民需とも立ち上がりが見られず、同地区の業界売上推移と比較すると落ち幅は少なかったものの対前年比で大きく下回りました。関東地区も民需減少の影響が大きくありましたが、羽田空港等大型プロジェクトの支えと、

グループ営業の相乗効果が表れたことから、累計で辛くも対前年比若干の伸長となりました。近畿中部地区は東海地区と神戸地区での民需の落ち込みが拡大、同域内で吸収しきれませんでした。九州・沖縄地区は、福岡県の民間工事の急激な減少と鹿児島県の公共工事減少が続きました。また、同事業分野における当該連結累計期間の販売売上は、

<鉄鋼関連事業>

鉄鋼製品販売事業は大口案件の受注に注力した結果、土木用鋼材の販売が大きく伸び、市況単価の下落と需要減はあったものの第3四半期の売上高は対前年比12.3%増、9ヵ月累計売上高でも前年を1.1%と僅かながら上回りました。これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は42億66百万円、営業利益は17百万円でした。

特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況

当第3四半期における拠点の新設閉鎖は、大阪中央営業所(大阪市此花区)を開設、大阪北港機械センター(大阪市此花区)ならびに旭川一条通東店(北海道旭川市)の2ヵ所を閉鎖しました。

国内向け販売については関東地区で大幅に伸長しましたが、その他の地区と、海外向け中古機販売の売却台数抑制の結果、累計で28.2%減となりました。これらの結果、建設関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は426億50百万円、営業損失は2億99百万円でした。

<情報通信関連・その他事業>

情報通信関連事業は、第3四半期に入って中古販売が伸長しましたが、PCレンタルは引き続きユーザーの経費削減傾向から、第3四半期は第1、第2四半期と比較すると改善を見ましたものの引き続き低位にあり、結果として当第3四半期連結累計期間の売上高は前年比14.4%減の3億40百万円となりました。営業利益は26百万円でした。

また、連結対象ではありませんが、当社が全額出資により金本(香港)有限公司を設立しております。

通期業績予想の修正理由(抜粋) 8月28日付で業績予想の修正発表をいたしました。

民間設備投資の低迷で市場縮小傾向のなか、公共事業前倒し発注など政府による経済対策もあって、当社グループでは各々の地域で建機レンタルのシェアを拡大しました。しかしながら、総じて工事は減少しており、需給の均衡が崩れた建機レンタルは広範囲で単価が下落、収益環境は一層厳しさを増しております。また、海外向け中古建機販売は期初から販売台数を抑制していることと、市況自体は需要が復調しつつあるものの円高の影響もあって、国内の収益減少を補うには至っておりません。

この結果、遺憾ながら第3四半期累計業績で設立来初めての営業損失を計上したこと、また、国内建機レンタル需要の本格的な回復は次期にずれ込むと判断されるため、期末業績予想を修正いたしました。

なお、現段階では期末配当の変更は検討しておりませんが、今後の業績推移により変更もあり得ますので、ご承知おきください。

■ 連結財務諸表

連結損益計算書

(単位:百万円)	第44期第3四半期(累計) (2007.11.1~2008.7.31)	第45期第3四半期(累計) (2008.11.1~2009.7.31)
① 売上高	53,668	47,258
売上原価	39,296	34,976
売上総利益	14,372	12,281
販売費及び一般管理費	12,080	12,580
② 営業利益	2,291	△299
営業外収益	323	289
営業外費用	426	533
③ 経常利益	2,188	△544
特別利益	53	51
特別損失	167	377
税金等調整前四半期純利益	2,074	△870
法人税、住民税及び事業税	874	197
法人税等調整額	140	△282
少数株主利益	84	72
④ 四半期純利益	974	△858

連結キャッシュ・フロー計算書

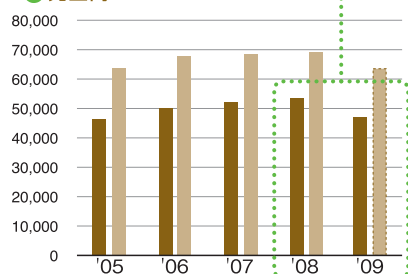
(単位:百万円)	第44期第3四半期(累計) (2007.11.1~2008.7.31)	第45期第3四半期(累計) (2008.11.1~2009.7.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,256	802
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,973	△3,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,048	1,145
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,331	△1,063
現金及び現金同等物の期首残高	17,213	17,566
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	680	24
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,226	16,527

Point

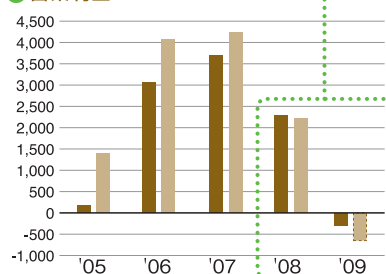
公共事業の前倒し発注など経済対策の効果が徐々に出始めましたが、需給均衡の崩れた機種を中心に広範囲でレンタル単価の下落が続き、収益ともに前年を大きく下回る結果となりました。

■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

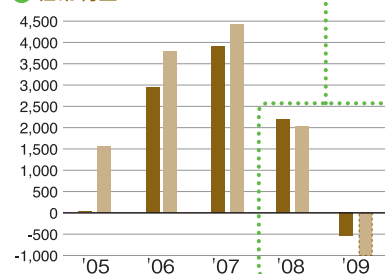
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



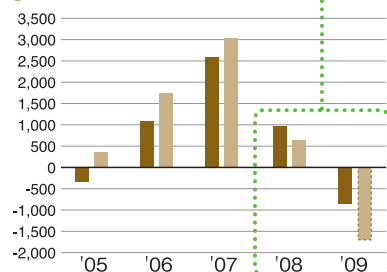
連結貸借対照表

(単位:百万円)	第44期第3四半期末 (2008.7.31)	第45期第3四半期末 (2009.7.31)
(資産の部)		
流動資産	35,920	32,730
固定資産	56,124	64,095
有形固定資産	48,678	57,273
無形固定資産	1,033	917
投資その他の資産	6,412	5,903
⑤ 資産合計	92,044	96,826
(負債の部)		
流動負債	27,332	29,038
固定負債	25,333	31,005
負債合計	52,666	60,043
(純資産の部)		
株主資本	38,116	36,268
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	17,480	15,635
自己株式	△21	△23
評価・換算差額等	1,003	169
その他有価証券評価差額金	1,003	169
少数株主持分	258	344
⑥ 純資産合計	39,378	36,782
負債純資産合計	92,044	96,826

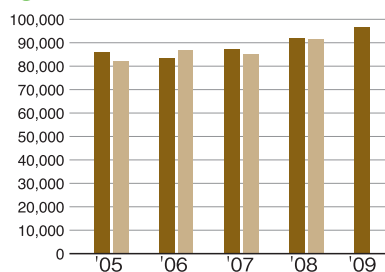
Point

保有する株式による投資有価証券評価損は幾分か改善されたものの、営業利益、経常利益が大きく減益になったことが響き、8億58百万円の純損失を計上する結果となりました。

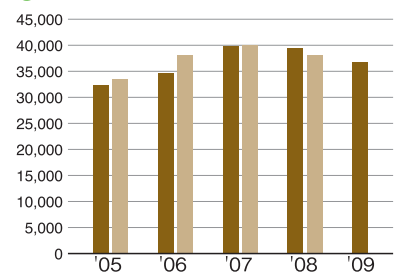
④ 四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



株主様からのご質問に答える

Q & A コーナー

いつもアンケートハガキをご返送いただきありがとうございます。皆様から頂戴したご質問にお答えするのがこのQ&Aコーナーです。ご意見、ご要望がございましたら、巻末のハガキにご記入のうえ、ご返送ください。

Q 株主優待の人気商品を教えてください。

A 2008年10月末分の株主優待の人気商品をランキング形式でご紹介します。順位は右表のとおりですが、上位の商品はそれぞれが5~10件程度の僅差でした。また、小誌のアンケートハガキで寄せられたご感想のなかには、「選ぶのがむずかしいくらいおいしそうな北海道の美味たちが並んでいる」「見ているとすべて欲しくなり、選ぶのが大変です」といったお声が多く、株主様も悩まれながらお選びになっていることがうかがえました。

なお、今年も株主優待を継続させていただきます。10月末日の株主様(最終権利付き売買日は10月26日)を対象に、北海道の産品を60品目程度からお選びいただけるカタログギフト「セレクトフォーユー」を来年1月中旬、株主総会の招集ご通知とともにお送りいたします。☑



カタログギフト「セレクトフォーユー」の表紙

株主優待
人気商品ランキング

1 北海道メロン



2 札幌開拓使ギフトB



3 ビーフハンバーグ



4 清流紀行ななつほし(道産米)

5 札幌開拓使ギフトA

6 伝統造りバター

7 北海道開拓ジンギスカン

8 天然銀聖鮭と漬魚

9 ギフトセレクション(お菓子)

10 清流紀行ほしのゆめ(道産米)

Lineup 取扱商品のご紹介

小誌では、これまでハイブリッドダンプトラックやLED照明、生ゴミ処理機などのEco製品をご紹介してきました。今回ご紹介するのもそうした環境配慮型商品の1つ、バイオトイレの車載タイプです。

富士山をはじめとする登山道や山小屋などに設置され、じわじわと注目が集まっているバイオトイレ。水が無い場所でも使える、汲み取りが必要ない、排泄物を蓄積しないため悪臭が発生しないといった数々のメリットがあります。

当社では、そのバイオトイレを軽トラック・2t車に搭載し、「移動式車載バイオトイレ」としてレンタル商品にラインナップしています。車両に搭載することで移動もラクラク、工事の進行状況や現場の事情に合わせてご利用いただけます。また、空いた荷台スペースの有効活用もでき、交通整理用の電光掲示板などを搭載することが可能。見た目も爽やかで、トイレ本体のブルーが車体の白に映える当商品は、道路交通法で定められた高さ制限や積載荷重もクリアしています。当社ではこれからも現場のニーズに合ったEco製品を取りそろえ、お客様の環境経営をサポートしていきます。☑



いま注目のEco製品「バイオトイレ」の車載タイプ

株価チャート (週足)



株主メモ (2009年9月30日現在)

資 本 金	96億9,671万円(払込済資本金)
発 行 株 数	32,872千株(発行済株式の総数)
事 業 年 度	11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
公 告 の 掲 載	当社ホームページ、日本経済新聞*

*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページ(<http://www.kanamoto.co.jp>)または<http://www.kanamoto.ne.jp>)に掲載いたします。

なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

同 郵 便 物 送 付 先 及 び 電 話 照 会 先

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

株価および売買高 (東証分のみ。単位:円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2008年9月	510	516	400	427	1,456
10月	435	439	291	314	3,705
11月	325	372	320	336	1,314
12月	329	335	301	326	818
2009年1月	345	345	302	313	1,011
2月	314	335	302	320	616
3月	330	352	300	333	882
4月	328	383	328	358	935
5月	363	429	362	416	625
6月	413	517	400	504	1,596
7月	484	500	459	490	1,149
8月	510	510	455	457	612

株券の電子化についてのお知らせ

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されている「Q&A(<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>)」等をご参照ください。また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

「株券電子化」なんでも相談窓口(株券電子化コールセンター)
TEL.0120-77-0915(フリーダイヤル 平日・土曜 9:00~17:00)

※株券電子化コールセンターは、株式会社証券保管振替機構、日本証券業協会、株式会社東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。

● 編集後記 ●

ラジオNIKKEI。昔のラジオたんぱといえば、ピンとくる方も多い筈。短波じゃリスナーは少ないんじゃないの?と訝しがられそうですが、いまではパソコン(詳しくは<http://www.radionikkei.jp/>をクリック)やポッドキャスト、そして携帯電話でも聞けるそうで、反対に視聴者は増えているんだとか。「夕焼けマーケット投資って楽しいね!」キャスターの櫻井さんは証券会社ご出身で、その当時の裏話がまた面白い。単なる投資情報じゃない血の通ったマシンガントークは、ぜひお聞きいただきたい所以です。お聞きいただきたいのにはもう一つ理由がありまして、実は櫻井さんが注目株として取り上げた株は必ず値が上がるそうで、当社の株もその御利益に与りたい処。内田さん、櫻井さん、長沢プロデューサーに、面白かったからまた来てとおっしゃっていただいたので、調子に乗って、否々当社の株価が上がりますよう、上京の折には夕焼けマーケット詣でをするのを日課としました。次回は10月かな、12月かな?

さて。政権交代であります。鳩山新政権の初外交はなかなかの手腕だったように思います。盲目的な従属ではない日本の意思が感じ取れました。ただ、国内ではまだまだ財源問題など山積ですし、特にダム工事の凍結など当社にとっては厳しい経営環境が予想されます。それでも、頑張ります。否、頑張れます。皆様の変わらぬご支援をいただけてるんです。あとは、勝機を如何に掴むかです。皆様に、感謝感謝、感謝です。kca



本誌は、再生紙と大豆油インキを使用しております。



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

www.kanamoto.co.jp

